

元号改正

天皇陛下が2019年4月30日に退位され、翌5月1日に新しい元号になることが決まりました。新元号は2018年半ばごろまでに発表されるとみられています。

元号は年号とも呼ばれ、古代中国で使われるようになったのが始まりです。日本の最初の元号は孝徳天皇の「大化」(645年)ですが、継続的に元号が使われるようになったのは、文武天皇の「大宝」(701年)からです。明治から新しい天皇が即位したときに改元する「一世一元の制」に変わり、「平成」は247番目の元号です。

元号の改正は「元号法」に則して行われ、元号は内閣が政令によって定めるとされています。

元号の決め方

- ①政府が頼んだ学者が案を提出
- ②官房長官が検討し、首相の指示で数個に絞る
- ③各分野の有識者の懇談会で意見を求める
- ④衆議院と参議院の正副議長に意見を聞く
- ⑤大臣全員で話し合い、閣議で決定
- ⑥新天皇が政令に署名
- ⑦公布

元号の条件は、漢字2文字、読み書きしやすい、良い意味、あまり使われていない、などとされています。

皆さんも、元号に関する本を読んで、新しい元号が何になるか考えてみませんか？

〈参考文献〉

- ・『元号』(山本 博文／編著、悟空出版、2017.9)
- ・『日本年号史大事典』(所 功／編著、雄山閣、2014.1)
- ・『日本大百科全書 18』(小学館、1994)
- ・『月刊 News がわかる 2018年 1月号』(毎日新聞社)